

宮崎県の肉用鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認 (国内 **15** 例目)

1. 農場の概要 所在地:宮崎県都城市
飼養状況:肉用鶏 (約3.6万羽)
2. 経緯

- (1) 12月2日、宮崎県は死亡鶏が増加した旨の通報を受けて、移動自粛の要請及び立入検査を実施
→ インフルエンザ簡易検査において「陽性」と判明
- (2) 12月3日、遺伝子検査を実施したところ、H5亜型の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認

過去21日間の平均死亡率の2倍を超える死亡があった場合等、異常を認めた場合にはすぐに家畜保健衛生所まで連絡を！

飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします(裏面)


消毒徹底、野生動物侵入防止、鶏舎専用靴・服の使用など特に重要なポイントを確実に実施してください！


高病原性鳥インフルエンザ相談窓口

飛騨家畜保健衛生所 (飛騨総合庁舎内)
〒506-8688 高山市上岡本町7-468 E-mail : c24508@pref.gifu.lg.jp
TEL : 0577-33-1111 (内線402) FAX : 0577-32-9019

※平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。

予防対策の重要ポイント

- ◎ 野鳥・野生動物の侵入防止 
防鳥ネット、鶏舎破損確認！
破損があれば速やかに修繕！！！！
集卵・除糞ベルトの開口部の隙間対策！
絶対に鶏舎に隙間を作らない！！！！

- ◎ 消毒の徹底 
車両・人・物すべてを消毒！
衛生管理区域境界、鶏舎周辺に消石灰散布！
鶏舎に入る際は特に嚴重に！！！！

- ◎ 鶏舎に入る際には「専用」の衣服、
長靴で 絶対鶏舎内に病原体を持ち込まない！

- ◎ 飲水消毒の実施

- ◎ 各種記録を確実に記載する！

家畜防疫互助事業への参加について

万が一にの発生に備えて、家畜防疫互助事業への参加を積極的にご検討ください

パンフレットは以下のURLからご確認ください

https://www.jpfa.or.jp/prevention/pdf/2018_05.pdf